



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月7日

上場会社名 東和薬品株式会社

上場取引所 東

コード番号 4553 URL <http://www.towayakuhin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田逸郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画本部長 (氏名) 西川義明

TEL 06-6900-9101

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	33,961	15.9	7,292	21.9	6,903	24.9	4,311	28.7
22年3月期第3四半期	29,298	9.9	5,980	31.6	5,527	25.3	3,350	31.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	251.16	—
22年3月期第3四半期	195.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	69,779	45,121	64.7	2,628.37
22年3月期	60,504	41,945	69.3	2,443.36

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 45,121百万円 22年3月期 41,945百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	22.50	—	32.50	55.00
23年3月期	—	30.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,300	16.0	9,100	17.5	8,800	18.4	5,500	19.5	320.38

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期3Q	17,172,000株	22年3月期	17,172,000株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	4,899株	22年3月期	4,859株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期3Q	17,167,122株	22年3月期3Q	17,167,306株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、緩やかに回復しつつあるものの、改善の動きに一服感がみられます。先行きについては、景気改善テンポの鈍化した状況がしばらく続いた後、緩やかな回復経路に復していくと考えられます。

医療用医薬品業界では、平成22年4月の診療報酬改定で、薬価改定が行われるとともに、新薬創出・適応外薬解消等促進加算の導入や、薬局の調剤基本料における後発医薬品調剤体制加算の見直しなどが実施されました。この影響により、4月以降、後発医薬品の調剤割合の増加を図る保険薬局が多く見られ、過半数の薬局は同加算が算定可能な20%を上回っております。その一方で、まだ半数近くの薬局は20%未満であり、積極的に加算を算定しようとする薬局と、従来どおりの調剤を行う薬局の二極化傾向が垣間見える状況となっております。

これに伴い、当社の保険薬局向けの売上も4月以降急増しました。ただ、この増加局面は一時的なものであり、その後は高い水準で横ばい傾向が続いています。当社といたしましては、安定供給体制の拡充を図るため、営業所の新設や、配送要員の増員などに取り組むとともに、病院市場、診療所市場の強化も図っているところであります。

一方、製品別の売上につきましては、従来品も含め幅広い製品の売上が増加しましたが、特に当社独自のRACTAB技術を用いたアムロジピンOD錠「トーワ」やランソプラゾールOD錠「トーワ」の売上が順調に推移しました。

この結果、当第3四半期の当社グループの売上高は33,961百万円（前年同期比15.9%増）、営業利益は7,292百万円（前年同期比21.9%増）、経常利益は6,903百万円（前年同期比24.9%増）、四半期純利益は4,311百万円（前年同期比28.7%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末における総資産は、69,779百万円となり、前連結会計年度末比9,275百万円の増加となりました。その主な要因は、有形固定資産の増加5,365百万円、受取手形及び売掛金の増加1,419百万円などであります。

負債につきましては、24,658百万円となり、前連結会計年度末比6,099百万円の増加となりました。その主な要因は、長期借入金の増加4,750百万円、その他流動負債の増加1,759百万円などであります。

純資産につきましては、45,121百万円となり、前連結会計年度末比3,176百万円の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加3,238百万円であります。

その結果、自己資本比率は64.7%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物の残高は、3,909百万円となり、前連結会計年度末比2,032百万円の減少（前年同期比1,301百万円の減少）となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は2,500百万円の増加（前年同期比1,439百万円の減少）となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益6,874百万円等であり、主な減少要因は法人税等の支払額3,347百万円等であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は8,663百万円の減少（前年同期比759百万円の減少）となりました。主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出5,586百万円、定期預金の預入による支出10,000百万円等であり、主な増加要因は定期預金の払戻による収入7,500百万円等であります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は4,143百万円の増加（前年同期比920百万円の増加）となりました。主な増加要因は、長期借入れによる収入5,000百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期の業績は、保険薬局における後発医薬品の調剤割合の増加が一段落し、当社の売上、利益とも平成22年11月8日に公表しました計画をやや上回るペースで進捗しております。第4四半期につきましても計画どおりに進捗するものと見込んでおり、平成23年3月期の連結業績予想（通期）に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

簡便な会計処理

法人税等の納付税額の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる営業利益、経常利益に対する影響額は軽微であり、税金等調整前四半期純利益は20百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,360	10,941
受取手形及び売掛金	16,146	14,726
有価証券	49	—
商品及び製品	6,768	6,556
仕掛品	2,701	2,008
原材料及び貯蔵品	3,052	2,276
その他	1,586	1,518
貸倒引当金	△407	△343
流動資産合計	41,257	37,684
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,998	7,277
機械装置及び運搬具（純額）	1,872	2,039
土地	6,771	6,676
建設仮勘定	8,865	3,261
その他（純額）	559	447
有形固定資産合計	25,068	19,702
無形固定資産	466	369
投資その他の資産		
投資有価証券	1,788	2,014
その他	1,250	797
貸倒引当金	△51	△63
投資その他の資産合計	2,987	2,748
固定資産合計	28,522	22,820
資産合計	69,779	60,504

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,799	5,557
1年内返済予定の長期借入金	250	—
未払法人税等	1,090	1,887
引当金	54	71
その他	7,803	6,043
流動負債合計	14,996	13,560
固定負債		
長期借入金	8,750	4,000
引当金	207	236
その他	704	762
固定負債合計	9,661	4,998
負債合計	24,658	18,559
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,717	4,717
資本剰余金	7,870	7,870
利益剰余金	32,582	29,343
自己株式	△11	△10
株主資本合計	45,159	41,920
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△37	24
評価・換算差額等合計	△37	24
純資産合計	45,121	41,945
負債純資産合計	69,779	60,504

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	29,298	33,961
売上原価	14,172	15,809
売上総利益	15,126	18,152
販売費及び一般管理費	9,145	10,859
営業利益	5,980	7,292
営業外収益		
受取利息	12	15
受取配当金	2	3
有価証券売却益	—	1
技術指導料	48	56
その他	89	107
営業外収益合計	152	183
営業外費用		
支払利息	23	48
有価証券償還損	14	—
有価証券評価損	137	31
スワップ評価損	408	476
その他	21	16
営業外費用合計	606	572
経常利益	5,527	6,903
特別利益		
貸倒引当金戻入額	5	57
投資有価証券受贈益	—	14
特別利益合計	5	71
特別損失		
固定資産処分損	3	1
投資有価証券評価損	68	81
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	17
特別損失合計	72	100
税金等調整前四半期純利益	5,459	6,874
法人税等	2,109	2,563
少数株主損益調整前四半期純利益	—	4,311
四半期純利益	3,350	4,311

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,459	6,874
減価償却費	1,283	1,344
貸倒引当金の増減額(△は減少)	222	51
その他の引当金の増減額(△は減少)	182	△46
固定資産処分損益(△は益)	3	1
受取利息及び受取配当金	△14	△18
支払利息	23	48
スワップ評価損益(△は益)	408	476
有価証券評価損益(△は益)	206	112
有価証券売却損益(△は益)	—	△1
有価証券償還損益(△は益)	14	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,135	△1,403
たな卸資産の増減額(△は増加)	△854	△1,681
仕入債務の増減額(△は減少)	874	241
その他	144	△127
小計	6,819	5,871
利息及び配当金の受取額	23	18
利息の支払額	△30	△42
法人税等の支払額	△2,874	△3,347
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,939	2,500
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△6,000	△10,000
定期預金の払戻による収入	—	7,500
有形固定資産の取得による支出	△2,037	△5,586
投資有価証券の売却による収入	97	16
貸付金の回収による収入	30	4
その他	5	△597
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,904	△8,663
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	4,000	5,000
配当金の支払額	△775	△1,050
自己株式の取得による支出	△1	△0
その他	—	194
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,223	4,143
現金及び現金同等物に係る換算差額	11	△12
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△730	△2,032
現金及び現金同等物の期首残高	3,425	5,941
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,694	3,909

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当社グループ（当社及び連結子会社）は、医薬品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。